

狂
月
坊

WA 32

17

Handwritten signature or mark at the bottom right corner.

Handwritten line of text at the bottom left, possibly a date or reference.

Main body of handwritten text, consisting of approximately 20 lines of cursive script.

Handwritten text at the top left, possibly a title or header.





康海部志新

照月のかゝる雲をふりてはるかに女を

孟 承 人

たかきへきへきと月を、信濃の田毎を教へ

田 原 弘 積

おゝとておゝとておゝとておゝとておゝとて

高 利 新 主

野へ、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

此 花 吉

今、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

長 井 吉 子

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

呼 河 吉 人

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

貸 本 吉 子

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

長 島 田 院

遠くは月を照はして、おゝとて、おゝとて、おゝとて

河 原 市 人

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

鬼 面 成

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

條 野 玉 備

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

子 女 吉 子

名月：おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

高 松 吉 風

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

康 信 吉 安 博

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

長 村 吉 世

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

国 胡 蝶

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

試 立 吉 子

唐土は、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

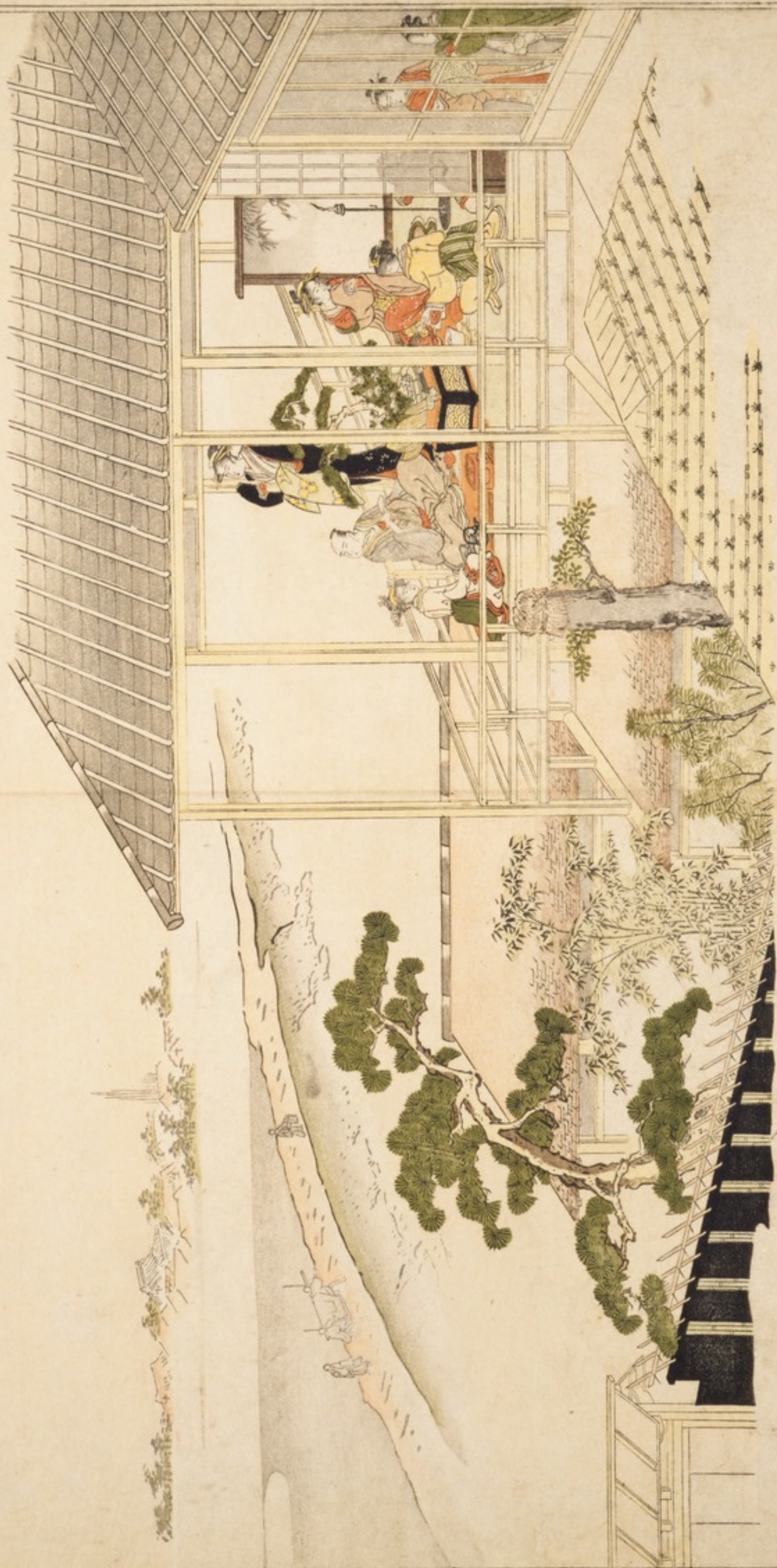
仲 麻 呂 の 月

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

定 政 橋 吉

おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて、おゝとて

銭 屋 金 増



大屋農住

夜二十七日 桂男

一富士二鷹

月 人三心二意

大京九三

水一升

百毒高

今田部

信

檀香

古

風

鞠

人

次

純

純

歌

後

歌

也

月

文

歌

人

歌

斗

歌

裏

歌

起

月

丸

丸



唐李之知

曳弱、孺にして其月を以ての戦ふを好む

人輕紀

晴天の雪域は光にまみれはるかに高く金糸月

荷造早文

[illegible]

屋藏堅丸

Attest: *[Signature]* Notary Public

寶藏光

并にもし桶の中を照ると、穀子もこれ程にのち

張之洞

いふまでもなく、この名は、くさの字に、しんの字を加へて、くさしんと云ふことになつた。

蜜柑皮種

Handwritten signature: *John W. ...*

加倍耳有

Figure 1. The first stage of the process.

延至己戌

212 英國倫敦 1840 年 10 月 10 日

五月雨 兼古

福に勝るものなし

25th Nov

人亦知此意而不敢言者

解瓜丈長

名三

如心 廉浩

此書の成立は、慶應義塾の創立者、及びその

— 222 —

Handwritten signature

行系馳女

行系總女

五十九日

海風吉

七 叔 父

中時記後序

M. S.

Handwritten signature

壹 佰 貳

[Faint handwritten notes at the bottom of the page]

19th 21st 22nd

一國之民

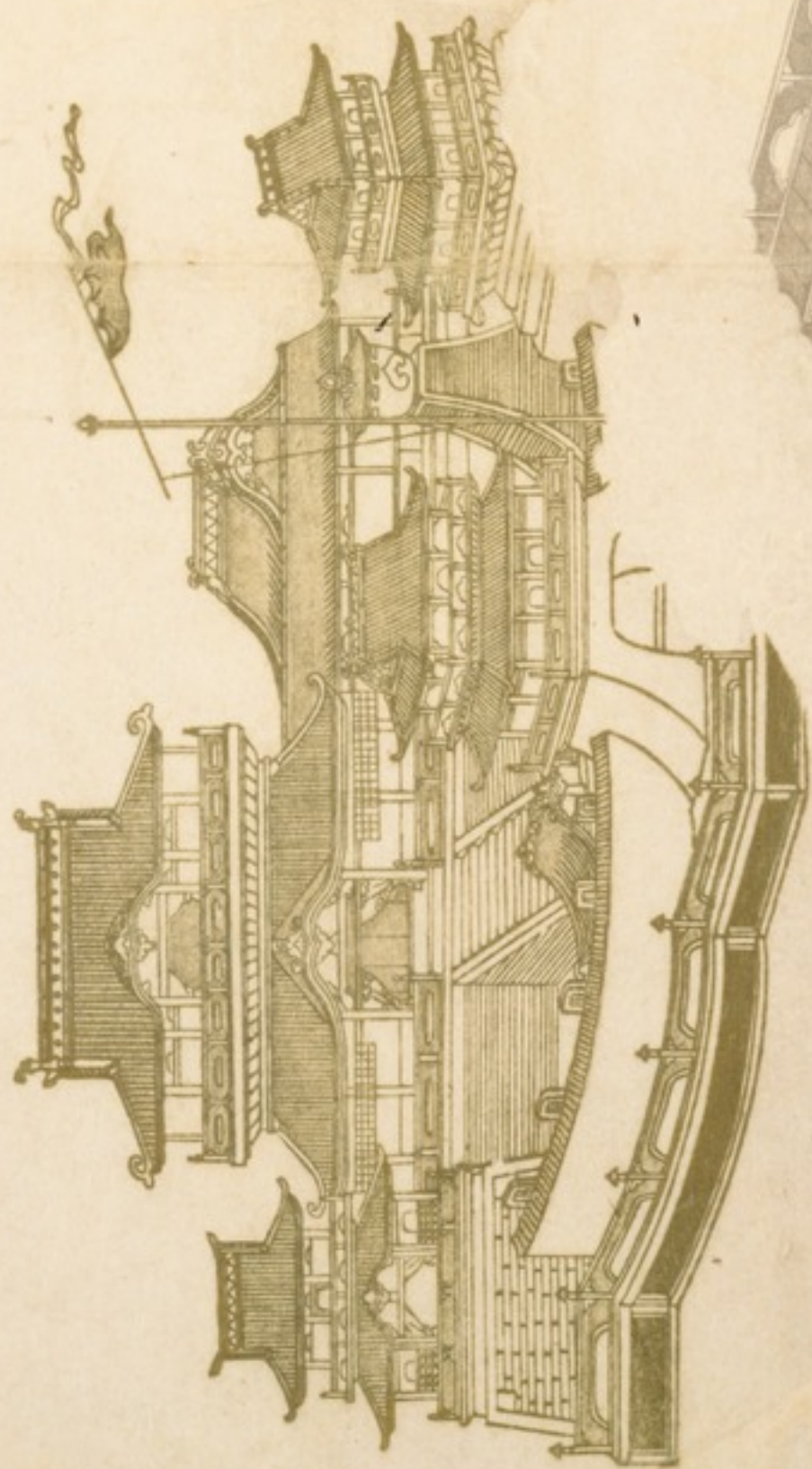
力

一、新、老、中、西、醫、藥、之、理、論、之、異、同、

此

紀定此

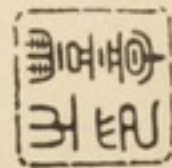
債—此月、わが家、お金の流れが、



一、
 人秋唐後
 海の月
 年
 満後
 九音
 人
 久加多
 新
 九唐
 列部
 師法
 住仲市
 月金
 盛飯屋宿
 一
 河瑞石座

右五葉

喜多川歌麻呂製



寛政己酉秋八月

東都書肆

耕書堂發行

